

兒玉花外 こゝろ 詩人。明治七年七月七日山口縣生れ、昭和十八年九月二十日歿（二七四—一九四三）。本名傳八。筆名おどわい、兒玉生等。同志社豫備校、東京專門學校等小學校。雑誌『早稲田文學』、『明星』、『新小説』等小詩を發表。明治二十六年刊行直前の『社會主義詩集』が發禁となり、最初の詩集として有名。

著譯書『風月万象』（山田栢柳 山本露葉合著、明治二二年六月十五日文學同志會）、坪内鏡雄遺稿『宗教と文學』（中島孤島共編、明治二十八年八月二十日文明堂）、『あやの草—あやの會詩集第一』（合著、明治二十九年六月一日如山堂書店）、『短編バイロン詩集』（譯、明治四十年十一月二十一日大學館）、『明治詩集（附録・新體詩年表）』（合著・吉野臥城編、明治四十一年一月二十七日昭文堂）、『源為朝』（參版・明治四十四年十一月十日書林堂書店）、『日本艶女傳』（明治四十五年二月十七日聚精堂『新婦人叢書』）、『兒玉花外愛國詩集』（昭和十六年七月二十日日本評論社）、『社會主義詩集』（岡野他家大解説、昭和二十四年十一月五日日本評論社『明治文化叢書』）等。